

■収集の対象

登録対象となる腫瘍の種類*に該当するもののうち、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初回の診断が行われた腫瘍である。初回の診断とは、自施設における、当該腫瘍に関して初めての、診断及び/又は治療等の診療行為のことを指し、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍について初診し、診断及び/又は治療等の対象となった腫瘍が登録対象となる。

*登録対象となる腫瘍の種類

...『国際疾病分類-腫瘍学第3版(3.2)』(ICD-O-3)における形態コードの性状コードが2(上皮内癌)もしくは3(悪性、原発部位)のもの(例外...中枢神経系腫瘍の性状コード:0(良性)と性状コード:1(良悪性の別不詳)、消化管間質腫瘍(GIST)、境界悪性の卵巣腫瘍の一部)

■各施設における登録患者について

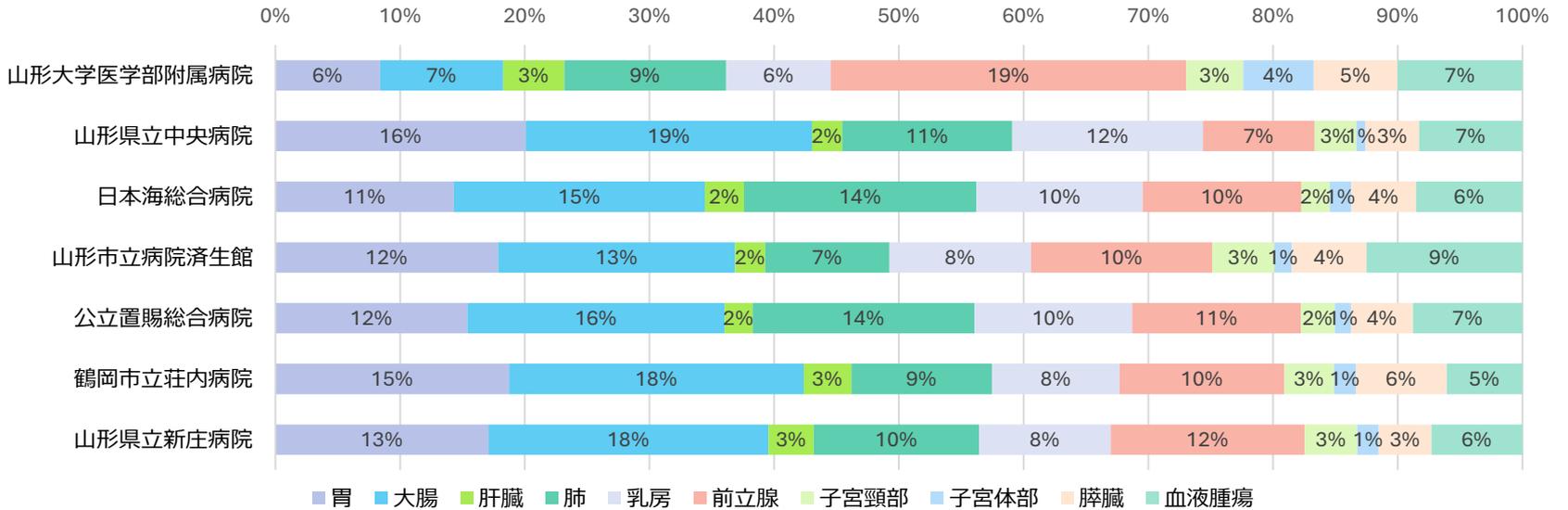
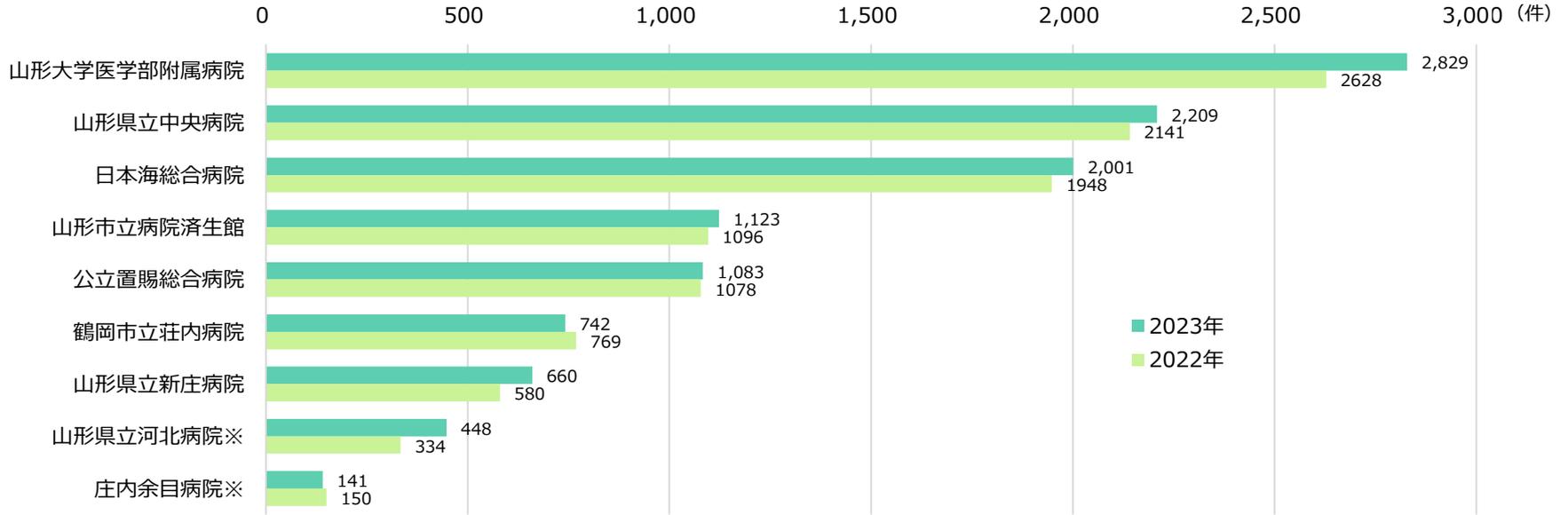
各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断後に自施設を初診した患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。同じがん患者で複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じがん患者の同じがんが登録されている可能性がある。本集計では、提供されたデータは匿名化されたデータのため、重複の処理は行っていない。

■症例区分

「80:その他」を除く。

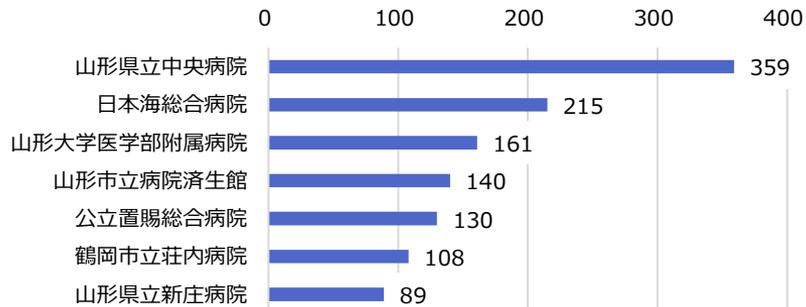
※ 県立河北病院と庄内余目病院の集計値については、国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」より引用。

各病院の年間登録数

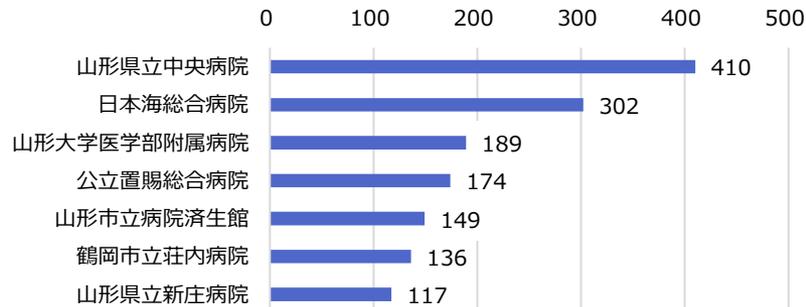


各病院の部位別件数（2023年）

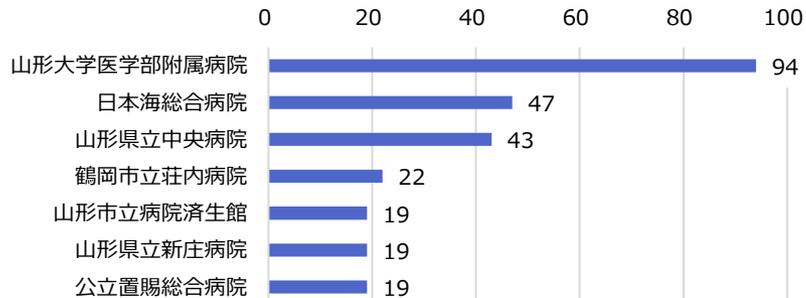
胃



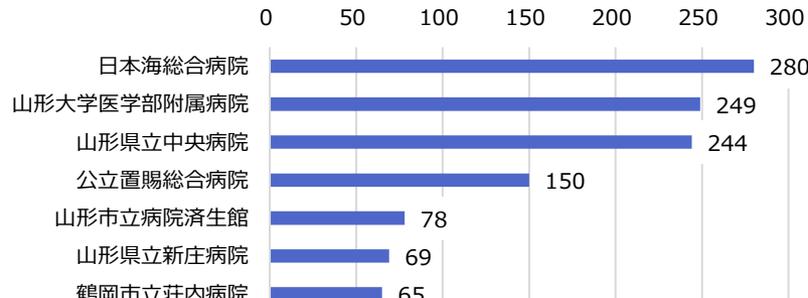
大腸



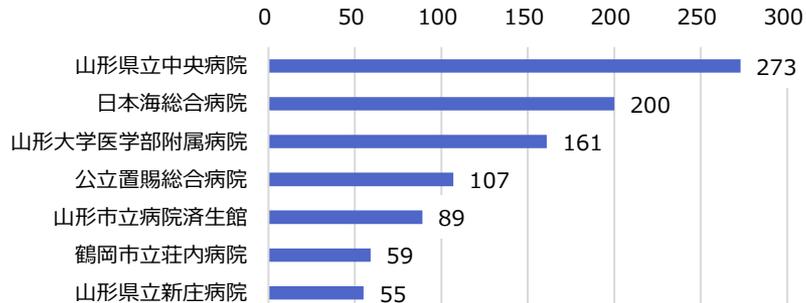
肝臓



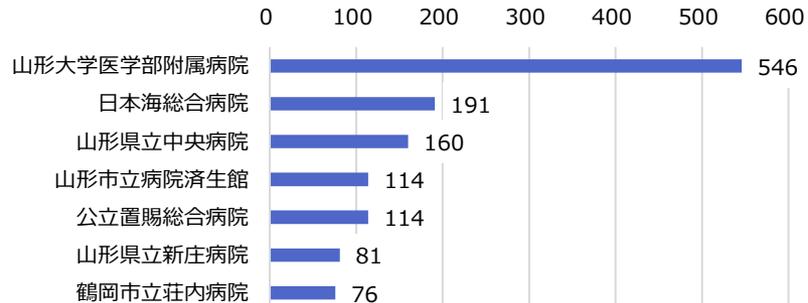
肺



乳房

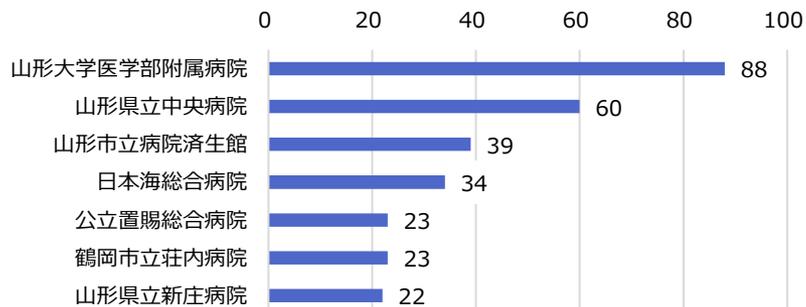


前立腺

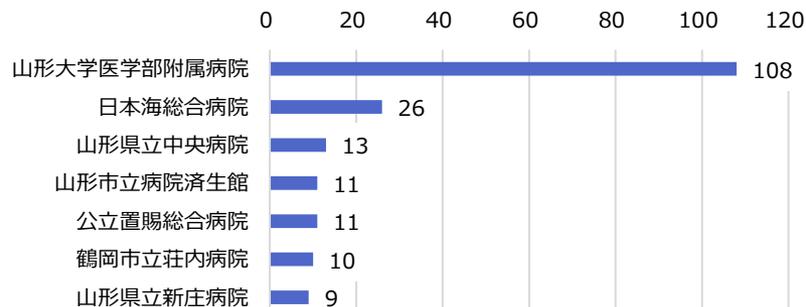


各病院の部位別件数（2023年）

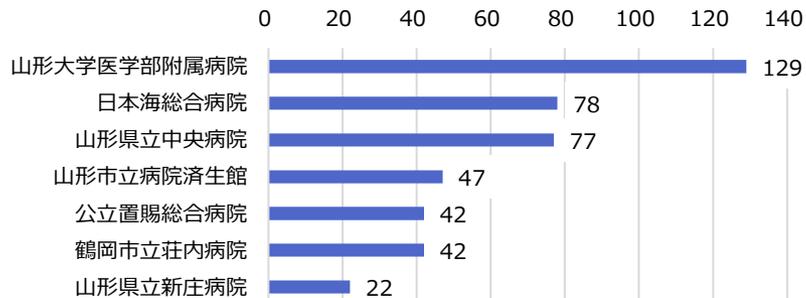
子宮頸部



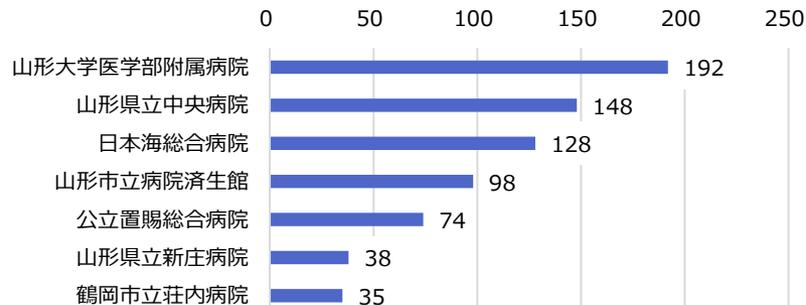
子宮体部



臍臓



血液腫瘍



その他

